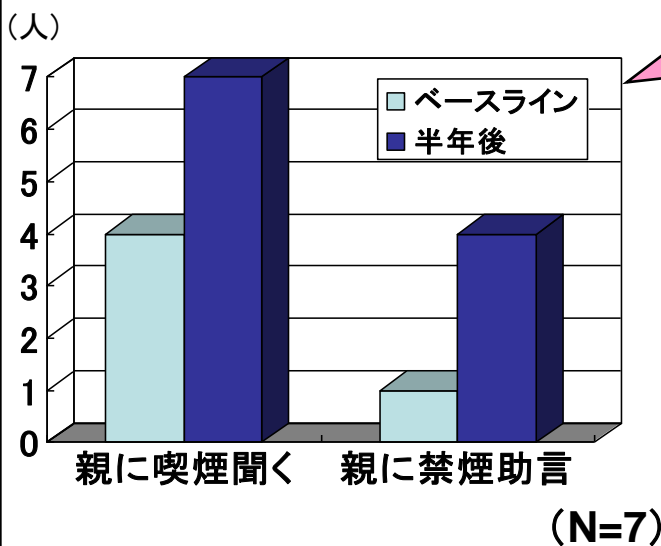


小児が受診した際、看護師が家族の喫煙に関する情報を得ていない、情報をケアに生かしてきれていないなど、家庭における禁煙・分煙支援は十分ではない。我々は1施設の小児看護実践者と禁煙支援の方策について検討してきた。

小児看護実践者の禁煙・分煙介入の必要性を啓発し、病児ケアの実状に即した親への禁煙支援に関するケアガイドラインを開発すべく研究を行っている。

【看護師のケア行動の変化】



- ・支援方法の文献学習
- ・支援教材作り
- ・入院児の親へ禁煙についてアンケート実施
- ・希望者へ呼気CO測定



- ← 禁煙に役立つ情報の提供
- ← 血圧のセルフモニタリング

某病棟で入院児の親への禁煙支援方法の検討

【親への禁煙支援に携わる看護上の課題】

- ・禁煙に無関心な親へ対応する困難
- ・子の障害ゆえ喫煙を話題にする躊躇
- ・周囲の人的・物理的環境の大きさ

【看護師が用いた戦略】

- ・子どもの前での分煙の勧め
- ・本人の節煙の勧め
- ・子どもの健康と関連付けた禁煙動機付け強化
- ・禁煙試行の励まし
- ・戸外喫煙の為に子どもを放置する事への注意

(看護師へのグループインタビューより)